

経営比較分析表（平成29年度決算）

青森県 藤崎町

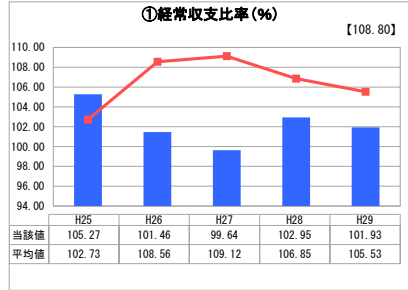
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	50.91	47.90	81.90	3,564

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,172	37.29	406.87
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,252	2.75	2,637.09

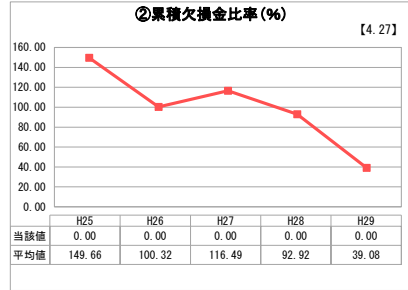
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

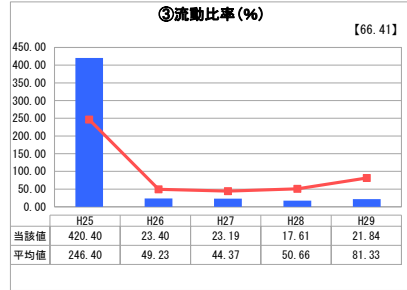
1. 経営の健全性・効率性



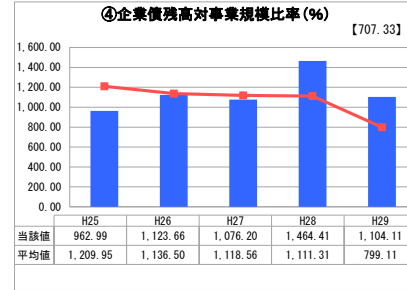
「経常損益」



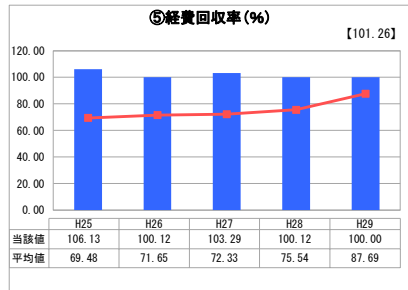
「累積欠損」



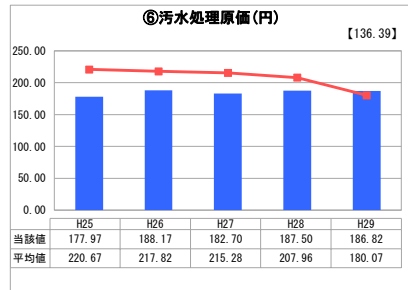
「支払能力」



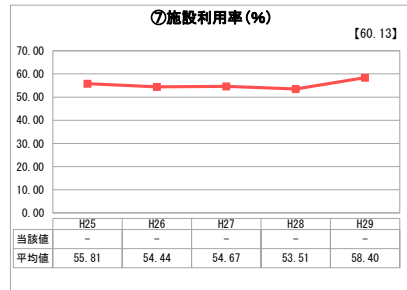
「債務残高」



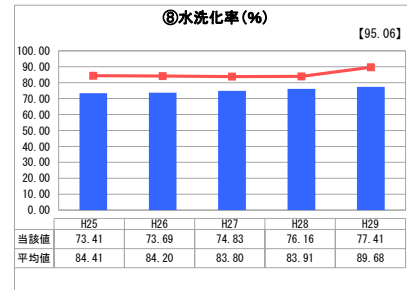
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

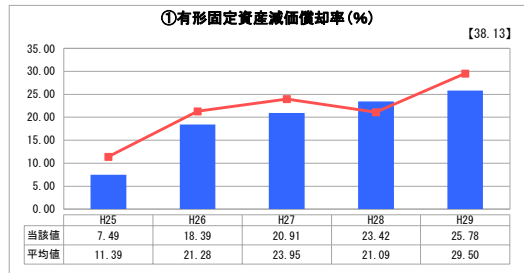


「施設の効率性」

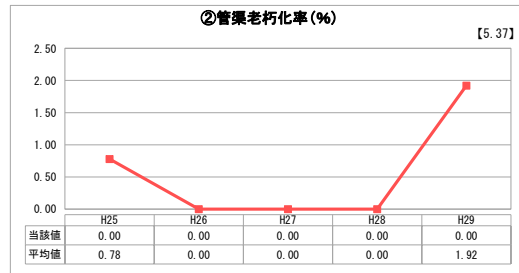


「使用料対象の捕捉」

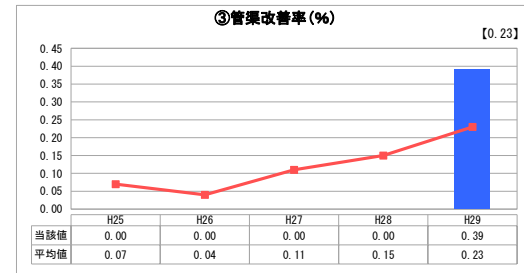
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

藤崎町の現状として、使用料収入が減少している反面、維持管理費等が増加傾向にあり、経常収支比率が悪化していたが、経常収支比率が100%を割り込んだ平成27年度と比較すると、経費削減等の効果もあり、現在の経営状況は改善傾向にある。また、制度改正の影響もあって、流動比率は低い状況にあるが、経費回収率や汚水処理原価は比較的良好であり、その他の経営指標も悪化すると推計されるため、水洗化率の向上や効率的な修繕計画の作成、各種業務の包括的な民間委託や事務の広域化などを検討し、管渠上の喫緊の問題点は存在しない。今日現在において経営上の喫緊の問題点は存在しない。

しかしながら、平成28年度以降、企業債残高対事業規模比率等が類似団体平均値と比較しても高い傾向に継続しており、加えて、今後の更なる人口減少による使用料収入の減少や、設備の老朽化等に伴い、その経営指標も悪化すると推計されるため、水洗化率の向上や効率的な修繕計画の作成、各種業務の包括的な民間委託や事務の広域化などを検討し、効率的な経営を目指していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

現時点で耐用年数を過ぎた管渠等は存在しないが、雨水・浸水対策として雨水管の更新投資を行っており、管渠改善率に表れてきている。また、汚水管については、ある程度の老朽化した管渠が存在するため、今後更新計画を策定し、更新を検討していく予定である。

全体総括

現時点では、経営状況や施設の老朽化等に大きな問題点は無いものの、更なる水洗化率向上のための啓蒙活動、適切な使用料徴収、包括的な民間委託、事務の広域化、そして一層の経費削減等に努めると共に、今後の安定経営のため、適正な料金収入の算定・改定を行い、経営改善を図っていく必要がある。

また、老朽化している管渠の更新を計画的に行うため、下水道ビジョン等の策定を検討し、今後の効率的な更新について準備を進める予定である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。